

# 74新破天荒



令和四年度より  
創刊  
第25号

## 二学期末考査 真つ只中

先月の中頃辺りから季節は進み始めました。体調を崩したりしていませんか。この時期に、インフルエンザに悩まされるとは思いもしませんでした。これも、ここ数年間振り回されている新型コロナウイルス感染症の影響によるものであることに、間違いはありません。

将来に向けて、少しずつ光も見え始めてはいますが、まだまだ未曾有の日々であり、人間の強い抵抗力・対応力を取り戻していくためにも、強い意識を持って体調の管理、健康維持のために必要な努力を保っていただく下さい。

学年のLHRでも、皆さんの中で最大行事となる修学旅行に関する事に触れていくようになります。「安心・安全」の上に、かけがえのない「想い出」が刻まれていくように協力をお願いします。

すでに、姫路南高等学校生活も折り返し。「想う」ことは山ほどあって良い。ただ、憂うばかりでなく将来の「自分」のために、今できる苦勞と向き合うことができるよう、日々祈っています。

## 皆さんの考える日常

現在の皆さんの立ち位置は、高校2年生の2学期を終える時期に近付いています。先述したように、冬休みが終わると高校生活最大の行事となるだろう、修学旅行が控えています。人によっては、既に期末考査どころではない人も、いま現在いるかもしれないね。

一方で、修学旅行の前週には1月総合学力テストが実施されます。テスト1日目には修学旅行の荷物発送が予定されており、その翌休日の進研記述模試2日目をクリアした後、翌週に修学旅行が実施されることとなります。

皆さんの非常に複雑な立ち位置が読み取れることと思います。1月の第27号(予定では2学期終業式にも発行予定)では、間違いなく「第3学年0学期」なる表題が上がっていることでしょう。

一気にモードを変えると、長続きしないし、多くの諦めを早くにしてしまいがちです。急ぐ必要はありませんが、動き始める必要は大いにあります。

まずは、学校から与えられた課題などを振り返り、提出のための作業に埋められたかもしれない課題達から、本来の「力」を与えてもらえるように、先生方から与えられる課題とは違った、自分の「意思」を持った時間を

## 作り出す 積み上げる

時間を取ることができるような、「3学年0学期」を過ごすような話を、もう少し具体的に挙げることに

なるでしょう。だいた、先に掲載する内容を先走りして掲げてしまいましたね。  
3学年00学期な冬休みを過ごす人もあって良いかと思えます。

期末考査に立ち向かっている中では、このようなことを考える余裕はないかもしれませんが、週末の今日これを読んで、期末考査3日目の00時間目の準備的に明日の午前中を、期末考査第4・5日目の00時間目の準備的に、少しのんびり目の土曜午後を過ごして、日曜日はいつもの取り組みの中に一つだけ違う意識を植え付けながら、月曜日の考査科目の調整ができると、今まで以上に面白い結果に出会えるかもしれませんね。

## 新しい日常を考え

週末を過ごした結果が出ることも期待しておきます。因みに、私は年に2回の姫路市一斉清掃に参加し、いつもお世話になっている地域への恩を、少し返すことができる良いなあと考える日曜日を過ごすこととなります。

## 十二月の予定

十一月三十日(木)～十二月六日(水)

七 日(木) 午前中授業③④⑤⑥  
神戸大学国際交流

八 日(金) 岡山大学訪問

十二日(火) 人権教育講演会(四限)

二十一日(木) 大掃除・ワックス掛け

二十二日(金) 終業式

二十八日(木) 仕事納め

## 一月の予定

四 日(木) 仕事始め

八 日(月) 成人の日(祝日)

九 日(火) 始業式 服装指導

十一日(水) 課題考査(時間割は追って連絡)

十二日(木) 課題考査 および 授業

十三・十四日(土・日) 進路希望調査

十六日(火) 修学旅行前健康相談

十七日(水) 共通テスト(来年は君達だ!)

十九日(金) 教育相談

二十日(土) 阪神淡路大震災追悼行事

二十一日(日) 修学旅行荷物発送(朝)

二十二日(月) 全国総合学力テスト

二十三日(火) 進研記述模試(午前中)

二十三日(火)～二十六日(金) 修学旅行結団式

三十日(火) 修学旅行

教育相談

# 漲る力

## 活躍を信じて

### 箏 曲 部

兵庫県総合文化祭最優秀賞  
来年度全国高校文化祭出場決定

- 部長 福井 彩香 (2組)
- 石田 歩楓 (2組)
- 安政 里奈 (3組)
- 釜増 莉緒 (4組)



私たち箏曲部は、十一月五日に行われた兵庫県総合文化祭で最優秀賞を取り、来年度に行われる全国大会に出場することが決まりました。

曲の練習を始めた頃は思うようにいかないことが多く、不安でいっぱいでした。部長として部を引っ張っていく中で悩んだこともたくさんあります。

でも、一緒に考えたり、悩んだり、励まし合える仲間や、真面目に付いてきてくれた先輩たちがいてくれたからこそ、ここまで頑張ることができたと思います。

本番では、100%の演奏ができたわけではありませんでした。それでも、全員で演奏することができたこと、目標を達成することができたことは、本当に嬉しかったです。

今回の大会を通して、サポートして下さる顧問の先生方、私たちのことを気にかけて応援して下さいる先輩方や家族がいることを、本当に幸せだと感じることができました。

全国大会では、感謝の気持ちを忘れず、自分たちらしい演奏ができるように頑張っていきたいと思えます。

これからも、応援をよろしくお願いします。

### バスケットボール部

後期西播大会Aリーグ準優勝

優秀選手 甘崎 成陽

私達男子バスケットボール部は、この度西播高校後期総合体育大会バスケットボールの部で準優勝することができました。

今大会はAリーグ初めての試合で、二日連続二試合という、とてもハードな日程でした。全試合を通して感じたことは、いつもよりチーム一丸となれていたということです。試合前には、「絶対勝つぞ」と声を掛け合ったり、試合中には、ベンチの子達も大きな声で応援してくれたりしました。

特に最終試合では、ラスト十秒で逆転し、一点差で勝つことができました。それは、誰もがあきらめずに戦い、応援してくれたからだと思います。今回は準優勝という結果でしたが、次の大会では優勝できるよう頑張ります。

私達は「愛されるチームになる」を目標に、日々練習に励んでいます。実力だけではなく、人間性も成長できるよう努力していきますので、応援をよろしく願っています。

今回応援して下さいる方々、ありがとうございます。



#### 散歩道 74

クラスコード 51uczkw

Start 23 → 2022 last 36

2023 start 38 → Now 52

2ndGrade start 52

→ Now 57



この一ヶ月間の生徒たちの様子を、思い浮かべて頂ければと思います。日々、伝えたいことを発信していけるようにします。

10月30日(月)

悔しさを持った人は できなかった悔しさより できるように積み重ねられなかったことに 目を向けてほしい

10月31日(火)

月の終わりです 反省ではなく振り返りを 思うのではなく計画を そして 明日は 実施の第一歩を！

11月1日(水)

「依存」とは 人の衣を身につけて存在する ということか どれくらいの人がスマホを手にした 「・・・」になっているか 人として理性を思い出してほしいものだ

11月2日(木)

失いたくないものは希望 なのに 最初に捨てる ものは小さな一歩 小さな辛抱 大きな夢 世の中は矛盾の固まりだ！

11月3日(金)

機会は与えられるものか 手にするものか 同じものを目にしても 捉え方で自分に返るものは違う

11月6日(月)

自分の力が発揮できた時ほど 欲も不安も現れる そして分析を具体的に 次へのステップが力強く踏み出せる

11月7日(火)

人の為になりたいという想いであるうちは 人には伝わっていない 自分も人である まずは自分の為に

11月8日(水)

「頑張れ」とは自分を励ますための言葉 (映画「風に立つライオン」より) 人にその言葉を言わなくなっているのは 本当は自分に甘えを与えているのかも

11月9日(木)

「相」手への想いを大切に 高みを目指して 「合」わせられる点を探る想いが持てれば 解決の「アイ」デアが生まれ お互いを認める 「愛」を持てるだろう

11月10日(金)

自分が正義と思えば楽である 人のせいと思えばね ただ生き方としてはつまらない そこに自分を高める気持ちはないから

11月13日(月)

不平が言える 人のせいでできる 休むことができることは幸せだ いま居られること自体が一番の幸せです

11月14日(火)

四季の移り変わりや喜怒哀楽の様子は似ている 厳しさを感じ ぶつかり 切磋琢磨して 時々の喜びを大切にしたい

11月15日(水)

正直である以上に誠実でいたい したいと思うのならぬことがあっても すべきことの責任を果たしたい

11月16日(木)

行動の原点は答えを求めようとする 大切なものは 答えにつながるもの 答え自身を見落とさぬことだ！

11月17日(金)

「気付き」という知らない世界にきっかけがあり 「興味」という世界を広げる心が生まれ 「行動」という磨きになっていく

11月20日(月)

「いま」できないことを 失敗としてしまうのか 課題と考えて 自分磨きができるのか 「創造と破壊」 自分のために

11月21日(火)

「気付き」には時があり 想いがあり 視野や 心が必要だ must ↓ need ↓ interest ↓ want

いつでも 欲を

11月22日(水)

「開き直る」場面やタイミングを間違えると自分の価値を落とす 熱苦しい姿だけが熱さを表す訳ではない 熱い想いを思い出せ

11月24日(金)

「笑う」ことの困難さ 偉大さ を知ろう 毎朝一番に 鏡の前で笑顔を 一日それを保つことは大変だけど

11月27日(月)

先ず隗より始めよ そうすれば 隗は行動を持続しようとする その姿を人のことと笑うか流すか 自分も・・・となるか 集団の力はそこから見える

11月28日(火)

人生は「泣き」から始まる 生きていくうちに 「泣き」を怖がり あるいは 「泣き」を武器にする 「泣きながら」でいい 闘おうよ すべては自分の為だよ

# 今月の 。。。。の 勧め

一月	「無駄」
五月	「諦めない」
六月	「捨てる」
七月	「チャレンジ」
一学期末	「さかのぼる」
九月	「テレビ」
十月	「大空間」
十一月	「無」
十二月	「こだわり」
二学期末	「信念」
一月	「探る」
二月	「自制する」
三月	「勇気を探す」
一年最終	
二年	
四月	「悩むこと」
四月 2	「本気でぶつかること」
五月	「この世界の片隅を大切に」
六月	「主体性」
七月	「客観性」
一学期末	「ルーティーン」
九月	「スマホとの向き合い方」
十月	「詩に触れる」
十一月	「破壊する」
十二月	「想いを再生する」

先月中旬に、新3年生用選択科目本調査を実施し、  
選択者の人数が確定して、来年度の学習課程講座数  
が定まりました。

## 「なぜこんな早くに?」

勿論、兵庫県教育委員会に報告するべく事務作業も伴います。必要な教科書の準備、副教材の準備、販売にあたって下さる書店への連絡。  
何より、授業を担当する教員、必要に応じて時間講師の手配など、皆さんの授業選択の希望を叶えるためにしていくことはたくさんあります。これは、本校だけのことではありません。  
そんな中で、皆さんにとってより良く準備を進めることができるように、より適切な学習環境を整えるために、適切に設けられた

## 時期

であるのです。  
そんな時期が「今」であり、年が明ければ74回生最大の学年（学校）行事である修学旅行が控えています。それが終われば、いよいよ「自分の進路」実現のために、皆さんは「覚悟」とともに日々の生活も「学習」に移行した日々へと変化していきます。  
そのための「心」の準備として、今月は自分の心にある、あった「本当の」想いを再生して、改めて自分の目指す「目標」に近付けることができるような時間を作って頂きたいと思えます。  
私自身も、皆さんの入学当初に描いた、実感した「本当」のポテンシャル、それに基づいた志望、手にしたいと思っていた皆さんの気持ち、手に入れさせるには?と想っていた私たちの気持ちを、この先にあるお互いの一年間での

## 覚悟

に繋がっていくように、想いを再生してみましょう。

# 今月の 修学旅行通信

昨日の修学旅行説明会におきまして、多数の来場ありがとうございました。その数の多さに驚かされ、本学年に向けての関心の強さに感謝するばかりです。  
必ずや、ここに至るまでも、この先も、74回生の心に、強く想い出が刻まれるよう、修学旅行委員を中心とした生徒たちと、行事への想いを共有しながら、

## 安心 安全

を最優先にししながら、素敵な修学旅行になるように取り組んでいきたいと思えます。  
今月は、様々な旅程、ルール、班行動やホテルの部屋割り、実習班のメンバー等が確定していきます。それに併せて、修学旅行の「しおり」も目にして、手にするものになると思えます。  
「期待感」や「不安感」、なんとも言えない感情を持ちながら、徐々に具体化されていくものを感じていく十二月になるでしょう。

前出の一月の行事予定にもあるように、十九日の荷物発送については、家庭のご協力が必要です。詳細は、追って連絡となりますが、地域の交通事情の配慮、スムーズで安全な導線の確保等を基本にしての協力依頼になります。不便を感じることがあると思います。我が子のために

「From Door To Door」  
の心理も十二分に理解することもできますが、今後

も本校が地域から「愛される」学校であり続けられるように、この日一日については、いつも以上のご協力を頂けますよう、よろしくお願ひします。  
なお、生徒を代表して各クラスの修学旅行委員がクラスの意見を持ち寄り、できること、できないこと、認められること、辛抱すべきことなど、自分達の想いだけでなく、修学旅行として、高校生の研修として、中身のある、相応しい、相手に失礼のないなど、いろんな側面から、真剣に修学旅行のルールの礎を議論してくれています。  
意に沿うこと、意に沿わないことは、二百人も集団ならば、あつて当たり前なのですが、「より良い」修学旅行のために時間を費やしてくれた、皆さんの代表の想いも受け止めてもらいたいものです。

